工事仕様書(上水編)【令和７年４月１日一部改正】新旧対照表

※誤字・脱字の改訂については記載を省略します。

章	頁	旧（令和６年）	章	頁	新（令和７年）
		表紙 令和６年度			表紙 令和７年度
		目次 3.9 弁類及び消火栓設置工 （記載なし） ---------- ー 3.11 舗装復旧工 ---------- 10 3.14 既設管との接続 ---------- 11 3.17 道路工事現場における標示施設等の設置基準 － 12 4.10 水管橋標準仕様 ---------- 58 附表・様式・参考資料 ---------- 59			目次 3.9 弁類及び消火栓設置工 3.9.3 消火栓及び空気弁の廃止 ---------- 10 3.11 舗装復旧工 ---------- 11 3.14 既設管との接続 ---------- 12 3.17 道路工事現場における標示施設等の設置基準 － 13 4.10 水管橋標準仕様 ---------- 57 附表・様式・参考資料 ---------- 58
1	P2	1.5 提出書類 (3) 耐震管布設及び継手耐震補強チェックシート 耐震管布設工事及び継手耐震補強工事の際に提出すること。併せて配水管の管割図及び給水管の詳細図を作成し、出来形管理測定結果報告書に整理し提出すること。管割図には施工日、管延長、管No、継手Noを記入すること。 （記載なし） (4) その他監督員が必要と認めた書類 (5) 竣工図 (6) 電子納品	1	P2	1.5 提出書類 (3) 耐震管布設及び継手耐震補強チェックシート 耐震管布設工事及び継手耐震補強工事の際に提出すること。 (4) 出来形管理測定結果報告書 ・配水管の管割図：管延長、異形管種、継手No. 分水栓位置（給水含む） ・給水管詳細図 ：管延長、管種、口径 を作成し提出すること。 (5) その他監督員が必要と認めた書類 (6) 竣工図 (7) 電子納品

章	頁	旧（令和６年）	章	頁	新（令和７年）
3	P5	3.6 布設工（鋳鉄管、鋼管、ビニル管） 3.6.3 接合工 (1) 鋳鉄管接合 受口内面、挿し口外面及びゴム輪の外面に継手用滑材を塗り、間隔が偏らないように取付ける。	3	P5	3.6 布設工（鋳鉄管、鋼管、ビニル管） 3.6.3 接合工 (1) 鋳鉄管接合 受口内面、挿し口外面及びゴム輪の外面に継手用滑材を塗り、受口端面とゴム輪、白線の間隔が偏らないように取付ける。
3	P7 P8	3.7 布設工（水道配水用ポリエチレン管） 3.7.4 ＥＦ接合 (1) 管の切断 切断面に食い違いが生じた場合は、再度切断を行うか、グラインダー等でバリや食い違いを平らに仕上げる。 (3) 融着面の切削 削り残りが生じた場合は、カンナ式スクレーパで、マーキングが完全に消えるまで切削すること。削りすぎた場合（約0.2㎜を超える場合）は再度管切断からの作業を行うこと。	3	P7	3.7 布設工（水道配水用ポリエチレン管） 3.7.4 ＥＦ接合 (1) 管の切断 切断面に食い違いが生じた場合は、再度切断を行う。 (3) 融着面の切削 スクレープは原則１回とする。ただし、削り残りが生じた場合は、カンナ式スクレーパで、マーキングが完全に消えるまで切削すること。スクレープ後に0.2㎜以上の傷が残っていた場合は、再度管切断からの作業を行うこと。
3	P10	3.9 弁類及び消火栓設置工 （記載なし）	3	P10	3.9 弁類及び消火栓設置工 3.9.4 消火栓及び空気弁の廃止 廃止管に付随する消火栓及び空気弁については、本体及び副弁を撤去し、本管からの立上り部をフランジ蓋により閉塞すること。
3	P11	3.12水圧試験 （記載なし）	3	P11	3.12水圧試験 (6)水圧試験には水道水を使用する。地下水や井戸水を使用してはならない。

<table>
<tr><th>章</th><th>頁</th><th>旧（令和６年）</th><th>章</th><th>頁</th><th>新（令和７年）</th></tr>
<tr><td>3</td><td>P12</td><td>3.16配水管明示
(1) 管上、中間明示テープ及び管探知ワイヤーを「4.9 明示テープ類仕様及び施工要領」に基づいて施工すること。

(3) 管探知ワイヤーは、仕切弁、消火栓および空気弁設置箇所においても切断せず、弁筐内でよじり合わせて地上から手の届く位置まで立ち上げておく。</td><td>3</td><td>P12</td><td>3.16配水管明示
(1) 管上、中間明示テープを「4.9 明示テープ類仕様及び施工要領」に基づいて施工すること。

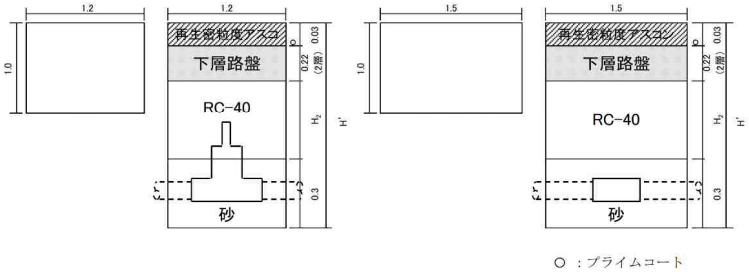
（削除）</td></tr>
<tr><td>4</td><td>P20</td><td>4.2 標準土工
4.2.1 布設工
凡例下　注記
（記載なし）</td><td>4</td><td>P20</td><td>4.2 標準土工
4.2.1 布設工
凡例下　注記
※管布設(仮復旧)から本復旧までを一連の工事で施工する場合は、仮復旧時の乳剤散布を省略することができる。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>P25</td><td>4.2.2 不断水穿孔工
 

図-4.2(a)　不断水バルブ箇所 標準土工事図　　図-4.2(b)　不断水割Ｔ箇所 標準土工事図

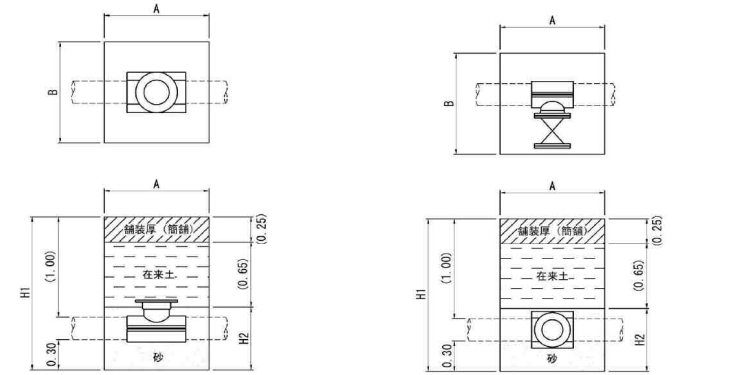
表-4.3　不断水穿孔工標準土工 数量表
<table>
<tr><th></th><th>掘削深 H'
m</th><th>H2
m</th><th>舗装切断工
m</th><th>埋戻工 砂(機械)
m3</th><th>その他</th></tr>
<tr><td rowspan="2">不断水バルブ</td><td>1.2</td><td>0.65</td><td rowspan="2">4.4</td><td rowspan="2">0.36</td><td rowspan="4">その他工種は各舗装種別による</td></tr>
<tr><td>1.4</td><td>0.85</td></tr>
<tr><td rowspan="2">不断水割Ｔ</td><td>1.2</td><td>0.65</td><td rowspan="2">5.0</td><td rowspan="2">0.45</td></tr>
<tr><td>1.4</td><td>0.85</td></tr>
</table>
※数量表H2は簡舗の場合であり、それ以外は別途検討する。</td><td>4</td><td>P25</td><td>4.2.2 不断水穿孔工
 

図-4.2(a)　不断水バルブ箇所 標準土工事図　　図-4.2(b)　不断水割Ｔ箇所 標準土工事図
※上図の（ ）値は、既設管土被り1.0mかつ簡舗の場合であり、それ以外の場合は別途検討する。

表-4.3　不断水穿孔工標準土工 数量表
不断水バルブ　　単位：m
<table>
<tr><th>既設管呼び径</th><th>A</th><th>B</th><th>H1</th><th>H2</th></tr>
<tr><td>75</td><td>1.47</td><td>1.35</td><td>1.39</td><td>0.49</td></tr>
<tr><td>100</td><td>1.54</td><td>1.35</td><td>1.43</td><td>0.53</td></tr>
<tr><td>150</td><td>1.73</td><td>1.40</td><td>1.47</td><td>0.57</td></tr>
</table>
不断水割Ｔ　　単位：m
<table>
<tr><th>既設管呼び径</th><th>A</th><th>B</th><th>H1</th><th>H2</th></tr>
<tr><td>75</td><td>1.05</td><td>0.90</td><td>1.39</td><td>0.49</td></tr>
<tr><td>100</td><td>1.10</td><td>1.00</td><td>1.43</td><td>0.53</td></tr>
<tr><td>150</td><td>1.15</td><td>1.00</td><td>1.47</td><td>0.57</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

章	頁	旧（令和６年）	章	頁	新（令和７年）
4	P25	4.2.3 仮配管工 注記 （記載なし）	4	P25	4.2.3 仮配管工 注記 ※管布設(仮復旧)から本復旧までを一連の工事で施工する場合は、仮復旧時の乳剤散布を省略することができる。
4	P32	4.3 小口径配水管布設基準（水道配水用ポリエチレン管） 4.3.4 布設工 表-4.11(a) HPPE布設工　材料表 管探知ワイヤー	4	P32	4.3 小口径配水管布設基準（水道配水用ポリエチレン管） 4.3.4 布設工 表-4.11(a) HPPE布設工　材料表 （削除）
4	P34	4.3.7 給水管布設工 (1) 給水管等取付工φ20，φ25 表-4.14(a) 給水管等取付工(分水栓，20,25) 材料表 ・（記載なし）	4	P34	4.3.7 給水管布設工 (1) 給水管等取付工φ20，φ25 表-4.14(a) 給水管等取付工(分水栓，20,25) 材料表 ・本管管種がHPPEの場合は、溶剤浸透防護スリーブにより分水栓を被覆すること。
		(2) 給水管等取付工φ30～φ50 表-4.15(a) 給水管等取付工(φ75～350×φ30～50) 材料表 ・（記載なし） 表-4.15(b) 給水管等取付工(φ50×φ30～40) 材料表 ・本管がφ50HPPEの場合のφ50×φ30は、分水栓を使用する。			(2) 給水管等取付工φ30～φ50 表-4.15(a) 給水管等取付工(φ75～350×φ30～50) 材料表 ・本管管種がHPPEの場合は、溶剤浸透防護スリーブにより分水栓を被覆すること。 表-4.15(b) 給水管等取付工(φ50×φ30～40) 材料表 ・本管がφ50HPPEの場合のφ50×φ30は、分水栓を使用し、溶剤浸透防護スリーブにより被覆すること。
4	P37	4.3.8 水管橋設置工 ・（記載なし）	4	P37	4.3.8 水管橋設置工 ・さや管内でEFソケットを使用する場合、さや管の呼び径は125Aとする。 ・河川に水管橋を架設する場合は、河川管理者と協議の上、防護コンクリート及び橋台の形状・寸法を決定すること

章	頁	旧（令和６年）	章	頁	新（令和７年）
4	P38	4.4 小口径配水管布設基準（ビニル管） 4.4.1 取付工 (1) 100～350×50 表-4.26　取付工（100～350×50）材料表 ・（記載なし）	4	P38	4.4 小口径配水管布設基準（ビニル管） 4.4.1 取付工 (1) 100～350×50 表-4.26　取付工（100～350×50）材料表 ・本管管種がHPPEの場合は、溶剤浸透防護スリーブにより分水栓を被覆すること。
4	P39	4.4.4 布設工 表-4.34(a) (HI)VP-RR布設工 材料表 管探知ワイヤー 表-4.34(b) HIVP-TS布設工 材料表 管探知ワイヤー	4	P39	4.4.4 布設工 表-4.34(a) (HI)VP-RR布設工 材料表 （削除） 表-4.34(b) HIVP-TS布設工 材料表 （削除）
4	P41	4.5 小口径配水管布設基準（仮配管） 4.5.1 取付工 (1) 100～350×50 表-4.37 取付工（100～350×50）材料表 ・（記載なし）	4	P41	4.5 小口径配水管布設基準（仮配管） 4.5.1 取付工 (1) 100～350×50 表-4.37 取付工（100～350×50）材料表 ・本管管種がHPPEの場合は、溶剤浸透防護ｽﾘｰﾌﾞにより分水栓を被覆すること。

旧（令和6年）

章	頁
4	P50

4.8 管防護工
4.8.1 鋳鉄管
(2) 拘束延長
表-4.48(a) DIP-GX,NS 拘束延長（曲管，T字管，管末，仕切弁）

呼径	曲管				T字管（分岐部）	管末，仕切弁		
	土被り 0.6m 以上				土被り 0.6m 以上	土被り 0.8m	土被り 1.0m	土被り 1.2m
	90°	45° 乙字管	22½°	11¼°				
φ75	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	5.5	4.5	4.0
φ100						7.0	5.5	5.0
φ150	4.0					9.5	8.0	6.5
φ200						12.0	10.0	8.5
φ250	6.0				2.0	14.5	12.0	10.0
φ300	7.0				7.0	16.5	14.0	12.0

呼径	曲管						T字管（分岐部）						管末，仕切弁	
	土被り 1.2m			土被り 1.5m			土被り 1.2m			土被り 1.5m			土被り 1.2m	土被り 1.4m ※( )内の数値は NS 形で土被り 1.5m
	90°	45° 乙字管	22½° 11¼°	90°	45° 乙字管	22½° 11¼°	枝管 φ300	枝管 φ350	枝管 φ400	枝管 φ300	枝管 φ350	枝管 φ400		
φ350	8.0	3.0	1.0	7.0	3.0	1.0	—	7.0	—	—	7.0	—	13.5	12.0 (11.0)
φ400	9.0	4.0	1.0	8.0	4.0	1.0	6.0	—	7.0	5.0	—	7.0	15.0	13.0 (12.5)

新（令和7年）

章	頁
4	P50

4.8 管防護工
4.8.1 鋳鉄管
(2) 拘束延長
表-4.48(a) DIP-GX 拘束延長（曲管，T字管，管末，仕切弁）

呼径	曲管				T字管（分岐部）	管末，仕切弁		
	土被り 0.6m 以上				土被り 0.6m 以上	土被り 0.8m	土被り 1.0m	土被り 1.2m
	90°	45° 乙字管	22½°	11¼°				
φ75	4.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.5	5.5	4.5
φ100	5.0					8.5	7.0	5.5
φ150	6.0				6.0	11.5	9.5	8.0
φ200	8.0					14.5	12.0	10.0
φ250	11.0	2.0			7.0	17.5	14.5	12.0
φ300	16.0	7.0	2.0	2.0	13.0	20.0	16.5	14.0

呼径	曲管						T字管（分岐部）						管末，仕切弁	
	土被り 1.2m			土被り 1.5m			土被り 1.2m			土被り 1.5m			土被り 1.2m	土被り 1.4m
	90°	45° 乙字管	22½° 11¼°	90°	45° 乙字管	22½° 11¼°	枝管 φ300	枝管 φ350	枝管 φ400	枝管 φ300	枝管 φ350	枝管 φ400		
φ350	15.0	7.0	2.0	13.0	7.0	2.0	—	14.0	—	—	13.0	—	16.0	14.0
φ400	17.0	7.0	2.0	15.0	7.0	2.0	12.0	—	16.0	10.0	—	15.0	18.0	15.5

旧（令和6年）

章 4　頁 P51

表-4.48(b) DIP-GX,NS 拘束延長（片落管）

呼径		GX				NS			
大管	小管	土被り 0.8m	土被り 1.0m	土被り 1.2m	土被り 1.4m	土被り 0.8m	土被り 1.0m	土被り 1.2m	土被り 1.5m
φ100	φ75	3.0	2.5	2.0	1.5	3.0	2.5	2.0	1.5
φ150	φ100	5.0	4.0	3.5	3.0	5.0	4.0	3.5	3.0
φ200	φ100	—	—	—		8.5	7.0	6.0	5.0
	φ150	5.0	4.0	3.5	3.0	5.0	4.0	3.5	3.0
φ250	φ100	—	—	—	—	11.5	9.5	8.5	7.0
	φ150	—	—	—		9.0	7.5	6.5	5.0
	φ200	5.0	4.5	3.5	3.0	5.0	4.5	3.5	3.0
φ300	φ100	14.5	12.0	10.5	9.0	14.5	12.0	10.5	8.5
	φ150	12.0	10.0	8.5	7.5	12.0	10.0	8.5	7.0
	φ200	9.0	7.5	6.5	5.5	9.0	7.5	6.5	5.5
	φ250	5.0	4.0	3.5	3.0	5.0	4.0	3.5	3.0
φ350	φ150	—	—	10.5	9.5	—	—	10.5	9.0
	φ200	—	—	9.0	8.0	—	—	9.0	7.5
	φ250	—	—	6.5	5.5	—	—	6.5	5.5
	φ300	—	—	3.5	3.0	—	—	3.5	3.0
φ400	φ150	—	—	—	—	—	—	12.5	10.5
	φ200	—	—	11.0	19.0	—	—	11.0	9.0
	φ250	—	—	—	—	—	—	9.0	7.5
	φ300	—	—	6.5	11.0	—	—	6.5	5.5
	φ350	—	—	—		—	—	3.5	3.0

図-4.26 DIP-NSライナ取付け箇所

新（令和7年）

章 4　頁 P51

表-4.48(b) DIP-GX 拘束延長（片落管）

呼径					
大管	小管	土被り 0.8m	土被り 1.0m	土被り 1.2m	土被り 1.4m
φ100	φ75	3.5	2.5	2.5	2.0
φ150	φ100	6.0	5.0	4.0	3.5
φ200	φ150	6.0	5.0	4.5	3.5
φ250	φ200	6.0	5.0	4.5	4.0
φ300	φ100	17.5	14.5	12.5	10.5
	φ150	14.5	12.0	10.5	9.0
	φ200	11.0	9.0	7.5	6.5
	φ250	6.0	5.0	4.5	4.0
φ350	φ150	—	—	13.0	11.0
	φ200	—	—	10.5	9.5
	φ250	—	—	7.5	7.0
	φ300	—	—	4.5	4.0
φ400	φ200	—	—	13.0	11.5
	φ300	—	—	7.5	7.0
	φ350	—	—	4.5	4.0

（削除）

旧（令和6年）

章	頁
4	P52

表-4.49 DIP-K 拘束延長

呼径	曲管 90°	曲管 45°	曲管 22½°	曲管 11¼°	管末 仕切弁	T字管	片落管	備考
φ75	3.5	2.0	－	－	＊ 3.9	＊ 3.9	－	数値は拘束延長を示す。(単位 m)
φ100	4.5	2.6	－	－	＊ 4.9	＊ 4.9	1.0	特殊押輪は全てクサビ型とする。
φ150	＊ 6.4	3.7	－	－	＊ 6.9	＊ 6.9	2.0	＊：杭打工を併用する。
φ200	＊ 8.2	4.9	－	－	＊ 8.8	＊ 8.8	2.0	コ：ｺﾝｸﾘｰﾄ防護を併用する。
φ250	＊ 10.0	＊ 6.0	2.6	－	＊ 10.7	＊ 10.7	2.0	
φ300	コ 11.6	＊ 7.1	3.1	－	コ 12.0	コ 12.0	2.0	φ300×90° 曲管は垂直上下弦設置のみｺﾝｸﾘｰﾄ防護工を併用する。
φ400	コ 12.0	＊ 9.0	3.9	2.7	コ 12.0	コ 12.0	2.0	
φ500	コ 12.0	＊ 10.9	4.7	3.3	コ 12.0	コ 12.0	3.0	

(3) 杭打工

(4) コンクリート防護工

章	頁
4	P53

4.8.2 ビニル管

表-4.50 (HI)VP-RR管 拘束延長

呼径	曲管 90°	曲管 45°	曲管 22½°	曲管 11¼°	管末 仕切弁	T字管 直線部	T字管 分岐部	片落管	
φ50	2.0	－	－	－	2.0	2.0	2.0	－	－
φ75	4.0	2.0	1.0	－	4.0	1.0	4.0	φ100×φ75	1.0
φ100	5.0	3.0	1.0	－	5.0	2.0	5.0	φ150×φ75	3.0
φ150	7.0	4.0	2.0	－	7.0	3.0	7.0	φ150×φ100	2.0

新（令和7年）

章	頁
4	P52

表-4.49 DIP-K 拘束延長

呼径	曲管 90°	曲管 45°	曲管 22½°	曲管 11¼°	管末 仕切弁	T字管	片落管	備考
φ75	3.5	2.0	1.5	1.0	5.0	5.0	－	数値は拘束延長を示す。(単位 m)
φ100	4.0	2.5	1.5	1.0	6.5	6.5	2.5 100×75	特殊押輪は全てクサビ型とする。
φ150	4.5	3.0	2.0	1.0	7.0	7.0	4.0 150×100	
φ200	6.0	4.0	2.5	1.5	9.0	9.0	4.0 200×150 6.5 200×100	
φ250	8.0	4.5	3.0	1.5	11.0	11.0	4.0 250×200 6.5 250×150 9.0 250×100	
φ300	9.0	5.0	3.5	2.0	12.5	12.5	4.0 300×250 7.0 300×200 9.0 300×150 11.0 300×100	
φ400	10.0	5.5	3.5	2.0	13.5	13.5	6.0 400×300 8.0 400×250 10.0 400×200 11.5 400×150	
φ500	12.5	7.5	4.0	2.5	16.0	16.0	6.0 500×400 10.0 500×300 12.0 500×250	

・上表の設計条件は、設計水圧：0.9 MPa、管と土との摩擦係数：μ＝0.4(ポリエチレンスリーブなし)
土被りは、(φ100以下)：0.8m、(φ150～300)：1.0m、(φ350以上)：1.2mとする。

(削除)

(3) コンクリート防護工

章	頁
4	P53

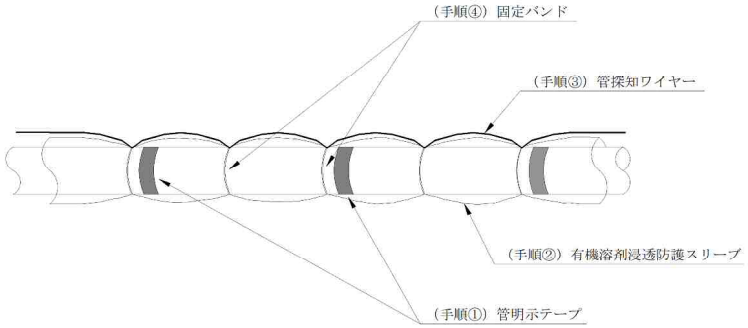
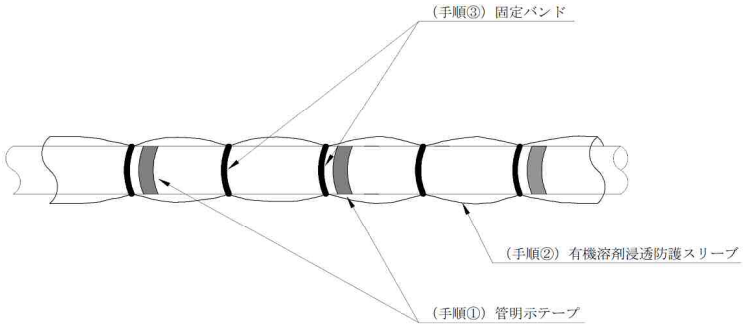
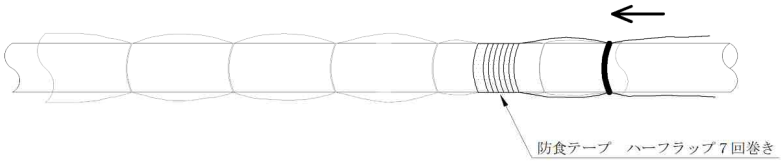
4.8.2 ビニル管

表-4.50 (HI)VP-RR管 拘束延長

呼径	曲管 90°	曲管 45°	曲管 22½°	曲管 11¼°	管末 仕切弁	T字管 (分岐部)	片落管	
φ50	2.0	1.5	1.0	－	3.5	3.5	－	－
φ75	3.0	2.0	1.0	1.0	5.0	5.0	φ75×φ50	3.0
φ100	3.5	2.5	1.5	1.0	6.5	6.5	φ100×φ75	2.5
φ150	4.0	2.5	1.5	1.0	7.0	7.0	φ150×φ100	4.0

・上表の設計条件は、設計水圧：0.7 MPa、管と土との摩擦係数：μ＝0.3
土被りは、(φ100以下)：0.8m、(φ150以上)：1.0mとする

章	頁	旧（令和６年）	章	頁	新（令和７年）
4	P54	4.9 明示テープ類仕様及び施工要領 (3) 管探知ワイヤー	4	P54	4.9 明示テープ類仕様及び施工要領 （削除）
4	P56	(4) 施工要領 ② 管探知ワイヤー ③ 端部施工方法 ④ 接続部施工方法 ⑤ 仕切弁・消火栓・空気弁部施工方法 (5) 施工手順（水道配水用ポリエチレン管） 水道配水用ポリエチレン管の管明示テープおよび管探知ワイヤーは、下記の手順で行う。施工性を鑑みて、管探知ワイヤーは有機溶剤浸透防護スリーブの外に取り付ける。 手順③ 管頂に管探知ワイヤーを設置する 手順④ 固定バンドで管探知ワイヤーごと固定する	4	P56	(3) 施工要領 （削除） （削除） （削除） （削除） (4) 施工手順（水道配水用ポリエチレン管） 水道配水用ポリエチレン管の管明示テープおよび有機溶剤浸透防護スリーブは、下記の手順で行う。 手順③ 固定バンドでスリーブを固定する

章	頁	旧（令和６年）	章	頁	新（令和７年）
4	P56		4	P56	
		（記載なし）			縁端部の処理 
		(4) 地下埋設管企業別表示テープの色彩（全国統一）			(5) 地下埋設管企業別表示テープの色彩（全国統一）

旧（令和６年）

章：附表　頁：P72

材料承認一覧（水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用離脱防止継手）

番号	名称	規格1	承認業者等
131	離脱防止継手※　ｿｹｯﾄ(HPPE×HPPE)	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
132	離脱防止継手※　ｿｹｯﾄ(HPPE×DIP)	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
133	離脱防止継手※　ｿｹｯﾄ(HPPE×VP)	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
134	離脱防止継手※　ﾌﾗﾝｼﾞ短管	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
135	離脱防止継手※　ｷｬｯﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
136	離脱防止継手※　三方ﾁｰｽﾞ	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
137	離脱防止継手※　ﾌﾗﾝｼﾞ付きﾁｰｽﾞ	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
138	離脱防止継手※　ﾍﾞﾝﾄﾞ　90° 45° 22 1/2° 11 1/4°	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
141	離脱防止継手※　ﾌﾗﾝｼﾞ付きﾍﾞﾝﾄﾞ（消火栓用）	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
142	離脱防止継手※　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×(HPPE)	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
143	離脱防止継手※　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×DIP)	一宮市上下水道部承認品	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱ ㈱川西水道機器
144	離脱防止継手※　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×VP)	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱： φ40VP、65VP除く ㈱川西水道機器
145	離脱防止継手※　ﾌﾗﾝｼﾞﾚﾃﾞｭｰｻ(F×HPPE)	一宮市上下水道部承認品	大成機工㈱ ㈱川西水道機器

新（令和７年）

章：附表　頁：P71

材料承認一覧（水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用離脱防止継手）

番号	名称	規格1	承認業者等
131	離脱防止継手　ｿｹｯﾄ(HPPE×HPPE)	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
132	離脱防止継手　ｿｹｯﾄ(HPPE×DIP)	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
133	離脱防止継手　ｿｹｯﾄ(HPPE×VP)	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
134	離脱防止継手　ﾌﾗﾝｼﾞ短管	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
135	離脱防止継手　ｷｬｯﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
136	離脱防止継手　三方ﾁｰｽﾞ	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
137	離脱防止継手　ﾌﾗﾝｼﾞ付きﾁｰｽﾞ	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
138	離脱防止継手　ﾍﾞﾝﾄﾞ　90° 45° 22 1/2° 11 1/4°	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
141	離脱防止継手　ﾌﾗﾝｼﾞ付きﾍﾞﾝﾄﾞ（消火栓用）	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
142	離脱防止継手　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×(HPPE)	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
143	離脱防止継手　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×DIP)	一宮市上下水道部承認品	ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器
144	離脱防止継手　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×VP)	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器
145	離脱防止継手　ﾌﾗﾝｼﾞﾚﾃﾞｭｰｻ(F×HPPE)	一宮市上下水道部承認品	㈱川西水道機器

旧（令和６年）

附表 P76 材料承認一覧（硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管・鋼管用継手）

番号	名　称	規　格　1	規　格　2	形 状 寸 法	承　認　業　者　等
189	伸縮ﾕﾆｵﾝ継手	一宮市上下水道部承認品	φ50　片ﾌﾗﾝｼﾞ付	φ30 40 50	㈱ﾀﾌﾞﾁ：φ40,50のみ 前澤給装工業㈱ 前田バルブ工業㈱：φ40,50のみ
			両ﾌﾗﾝｼﾞ付	φ75 100	㈱光明製作所

附表 P79 材料承認一覧（ﾎﾞｰﾙ式ｻﾄﾞﾙ分水栓）

（記載なし）

番号	名　称	規　格　1	規　格　2	形 状 寸 法	承　認　業　者　等
205	ﾎﾞｰﾙ式ｻﾄﾞﾙ分水栓	一宮市上下水道部承認品	ﾋﾞﾆﾙ管・鋼管用 JWWA　B117準拠	φ65×φ20 φ65×φ25	㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱

附表 P83 材料承認一覧（鉄蓋・桝類）

番号	名　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
244	ﾒｰﾀｰ筐	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄製（蓋FCD）	φ13 20 25 30 40 50～100	㈱慶和製作所：φ20まで ㈱ダイモン：φ25まで 日之出水道機器㈱

附表 P84

（記載なし）

新（令和７年）

附表 P75 材料承認一覧（硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管・鋼管用継手）

番号	名　称	規　格　1	規　格　2	形 状 寸 法	承　認　業　者　等
189	伸縮ﾕﾆｵﾝ継手	一宮市上下水道部承認品	φ50　片ﾌﾗﾝｼﾞ付	φ30 40 50	㈱ﾀﾌﾞﾁ：φ40,50のみ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱：φ30,40のみ 前澤給装工業㈱ 前田バルブ工業㈱：φ40,50のみ
			両ﾌﾗﾝｼﾞ付	φ75 100	㈱光明製作所

附表 P78 材料承認一覧（ﾎﾞｰﾙ式ｻﾄﾞﾙ分水栓）

番号	名　称	規　格　1	規　格　2	形 状 寸 法	承　認　業　者　等
205	ﾎﾞｰﾙ式ｻﾄﾞﾙ分水栓	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄管用	400×20 400×25 400×30 400×40 400×50	前澤給装工業㈱

番号	名　称	規　格　1	規　格　2	形 状 寸 法	承　認　業　者　等
205	ﾎﾞｰﾙ式ｻﾄﾞﾙ分水栓	一宮市上下水道部承認品	ﾋﾞﾆﾙ管・鋼管用 JWWA　B117準拠	φ65×φ20 φ65×φ25	㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱

附表 P82 材料承認一覧（鉄蓋・桝類）

番号	名　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
244	ﾒｰﾀｰ筐	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄製（蓋FCD）	φ13 20 25 30 40 50～100	㈱ダイモン：φ25まで 日之出水道機器㈱

附表 P83

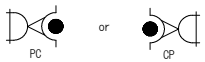
番号	名　称	規　格　1	規　格　2	形 状 寸 法	承　認　業　者　等
258	排泥弁鉄蓋	一宮市上下水道部承認品		φ230×150	日之出水道機器㈱ ｸﾛﾀﾞｲﾄ工業㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱

旧（令和６年）

附表 P85 材料承認一覧（不断水割Ｔ字管類）

番号	名称	規格 1	規格 2	承認業者等
275	仕切弁付不断水割Ｔ字管 （ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁）	PTC G 31	HPPE用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形	ｺｽﾓ工機㈱
276	仕切弁付不断水割Ｔ字管 （簡易弁）	PTC G 31	HPPE用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形 外ﾈｼﾞ形	ｺｽﾓ工機㈱
278	不断水割Ｔ字管	PTC G 31	HPPE用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形	ｺｽﾓ工機㈱

附表 P85

材料承認一覧番号	図示記号	図面表記名	
		名称	寸法(例)
128		メカニカル継手 レデューサ	100DIP × 150

附表 P96

（記載なし）

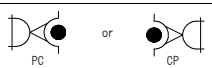
新（令和７年）

附表 P84 材料承認一覧（不断水割Ｔ字管類）

番号	名称	規格 1	規格 2	承認業者等
276	仕切弁付不断水割Ｔ字管 （ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁）	PTC G 31	HPPE用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形	
277	仕切弁付不断水割Ｔ字管 （簡易弁）	PTC G 31	HPPE用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形 外ﾈｼﾞ形	
279	不断水割Ｔ字管	PTC G 31	HPPE用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形	

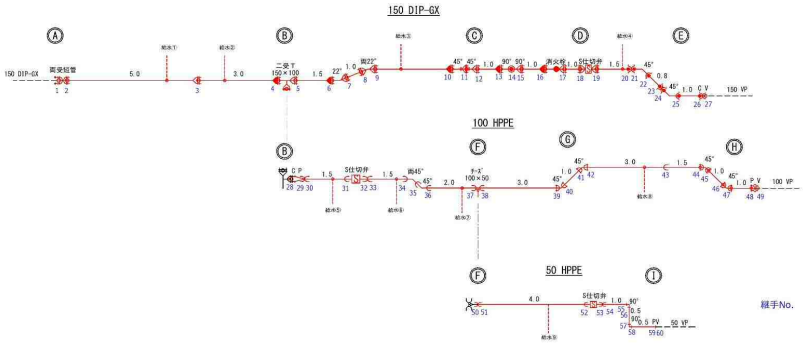
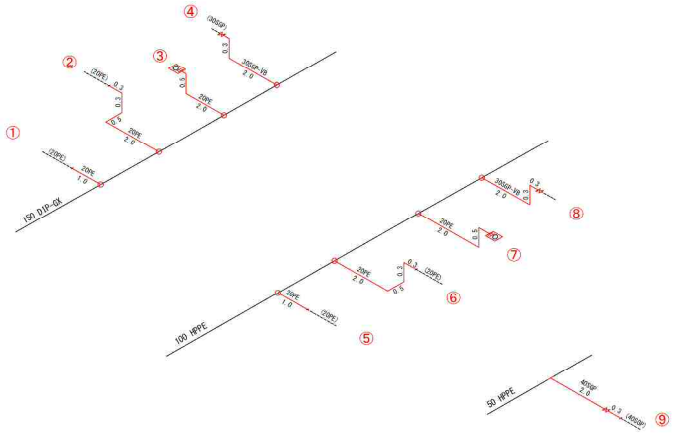
（PTC規格品のため承認業者名削除）

附表 P94

材料承認一覧番号	図示記号	図面表記名	
		名称	寸法(例)
128		メカニカル継手 レデューサ	150DIP × 100

附表 P95

管種	材料承認一覧番号	記号	図面表記名	
			名称	寸法(例)
その他		＊	凍結工法	100

章	頁	旧（令和６年）	章	頁	新（令和７年）
		（記載なし）	附表	P102	出来形管理図（管割図）　　作成例 
		（記載なし）	附表	P103	出来形管理図（給水）　　作成例